

重点事項

重点事項別施策

1 物流改革の推進『活力』

スーパー中枢港湾プロジェクトの推進と物流拠点の形成 14頁

スーパー中枢港湾プロジェクトの推進、国際海上コンテナターミナル及び国際幹線航路の整備等を通じ物流拠点の形成を図り、我が国の国際競争力強化を図る。

輸出入・港湾関連手続の簡素化への取組み 16頁

世界に誇ることのできる高水準の港湾サービスの実現を目指し、FAL条約にも対応した輸出入・港湾諸手続の一層の簡素化への取組みを進める。

2 地域経済再生『活力』

地域の経済と雇用を支援する多目的国際ターミナルプロジェクトの推進 17頁

我が国の経済の礎である地域経済の再生と企業の競争力強化を図るため、産業を物流面から支える多目的国際ターミナルの拠点整備を推進する。

既存ストックの有効活用によるものづくり産業・素材型産業の活力の復活 18頁

近年の船舶の大型化に対応した航路等の港湾機能の回復及び拡充を進め、地域のものづくり産業・素材型産業の活力の再生を図る。

国内海上輸送体系の強化とモーダルシフトの推進 19頁

モーダルシフトを推進し、環境負荷が少なく、エネルギー効率の高い国内海上輸送の利用促進を図るため、複合一貫輸送に対応した内貿ターミナルを整備する。

3 安心・安全な地域づくり『安全』

大規模地震対策の推進 20頁

東海地震、東南海・南海地震などの大規模地震に対して、地域の被害の低減及び早期復興を図るため、港湾における防災機能の強化を推進する。

港湾・海域の保安対策の強化 21頁

港湾保安委員会の設立やサミットでのG8合意等を踏まえ、国内外の行政機関や民間機関とも連携し、国際港湾における水際対策及び海域での保安対策を強化する。

放置艇対策の推進 22頁

港湾における放置艇問題を解消するため、関係機関との連携を図りつつ、既存の静穏水域の護岸を活用した係留施設等ポートパークの整備を促進する。

4 循環型社会の構築など環境問題への対応『環境』

港湾を核とした総合的な静脈物流システムの構築 23頁

港湾を活用した静脈物流システムの構築を推進するとともに、ひっ迫する廃棄物処分問題等に対応するため、廃棄物海面処分場の整備を推進する。

自然再生の推進・良好な水環境の創出 24頁

豊かな生態系を育む自然環境の形成を図るため、港湾における自然再生を推進するとともに、汚泥その他公害の原因となる物質の除去、覆砂による水底の底質改善を実施する。

港湾地域における排出ガス対策の推進（「みなとグリーン化プロジェクト」） 25頁

地球温暖化防止対策及びマルポール条約に対応した大気汚染防止対策として、港湾における荷役時の排出ガス削減策の検討を行う。

5 観光立国への貢献と地域再生への取組み『暮らし』

美しく個性豊かな「みなと」づくり 26頁

観光立国実現を目指し、地域と一体となったソフト・ハード連携施策の重点的かつ一体的実施により「みなとの観光交流」を支援する。また、地域住民や地元行政などの多様な主体の参加と連携のもと、海に開かれた「みなと」の資産を活用し、みなとまちづくりを推進する。

地域の活動を支える海上交通機能の向上とユニバーサルデザイン化の推進 27頁

人々の移動や生活物資・地場産品の輸送等により地域の活力を支える海上交通に必要なターミナル機能の確保を、ユニバーサルデザイン化を図りつつ着実に推進する。